

哲 學 研 究

第八卷 第十一冊

第十九號

大正十二年十一月一日發行

自律の法理的意義……………法學士 恒藤 恭

無 我 論……………文學士 手島 文蒼

シルラーが美學上の功績……………文學博士 深田 康算

ペネデット・クロチエダンテの詩……………文學士 大賀 壽吉
文學士 黒田 正利

京都帝國大學文學部

京都哲學會

京都哲學會役員
委員 文學士 植

文學士	植田壽藏
文學博士	狩野直喜
文學碩士	小西重直

文學博士 小西重直

文
學
士
高
坂
正
嘉

文學士 澤村 專太郎

文學博士 高瀬武次郎

文學博士 田邊 元

文學博士
千
寒
亂
戎

千葉磨成

文學博士 朝永三十郎

文學博士 西田幾多郎

文學博士
野上俊夫

文學博士 波多野 清一

文
學
博
士
栗
田
英
算

文學博士 深田 康 算

文學博士
藤井健治郎

文學博士 松本文三郎

文學士
務臺
理作

文學博士 米田主太郎

六日

寶嚴方夫

會 告

來る十一月十七日(土曜日)午後正一時半より本會秋
期公開講演會を左の如く開催致候間御來聽被下度
此段御案内申上候 敬具

一、會 場

京都帝國大學法學部第一教室

一、演 題

自由の可能に就て

文學士 世 良 壽 男 君

理念の因果律と自然の因果律

文學博士 西田 幾 多 郎 君

大正十二年十一月一日

京 都 哲 學 會

前 號 目 次

内部知覺と其對象について……………文學士 務臺理作	歴史的と藝術的……………文學博士 西 晋一郎	無 我 論……………文學士 手島 文蒼
		教育概念の基礎づけ……………文學士 伊藤 猷典

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 二、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會
振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三三九五五番三三九三番東京三三九三一)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 下に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定 價	一 郵 税
一冊	金 四 拾 錢	一 金 壹 錢	
六冊	金 貳 圓 四 拾 錢	一 金 壹 錢	
十二冊	金 四 圓 八 拾 錢	一 金 壹 錢	

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

不 許 複 製
禁 轉 載

大正十二年十月廿五日印刷納本
大正十二年十一月一日發行

第九十二號 第八卷 第十一册

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

有代表者 寶 殿 方 夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 京都市西洞院通七條南入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五五番 東京三三九三一

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 東京市京橋區加賀町十番地
販賣所 東京市神田區錦町一ノ一

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

賣捌所 (大阪) 盛文館 三文社

(神戸) 寶文館 川瀬書店
(京都) 共盛社 大盛社

土田杏村解説
由良哲次 譯

タゴール氏原著

新刊

タゴールの人生論

四六判二百五十餘頁
バビリン美装
定價壹圓八拾錢
郵稅拾七錢

近時獨逸哲學界に於てタゴール研究が一の著しき趨向をなしてゐるのは何を語るものであらうか。幽玄なるウパニシャツトの思想の體驗に生き深遂なる哲理の瞑想に生きる我が東洋の聖者の語に再び靜思すべき時が來たのではなからうか。本書はタゴールそのブラーマの人格の哲學を根柢とする人格的宇宙觀人生觀及び藝術論宗教論教育論を稍理論的に然も詩韻に充ちたる言葉を通じて述べたもので今や我思想界の一大轉期に向はんとする際は非一讀せざる可らざる好著である。譯者は又少なからぬ努力を以つて忠實にこれを譯述してゐる。

(大正五年四月六日) 大正十二年十月二十五日印

刷納本

哲學研究第九十二號

定價金四十錢

郵稅

（振替 大番 一三九） 社會式株版出外内 條七院洞西都京